香美市文芸 風の流れ

【短歌】

岡崎　桜雲　選

台風よ今は来るなと祈るかな稲田は花の盛りにあれば　小原　子川
夕暮をヘリコプターも軽々と台車に乗せられ車庫に入れらる　坂本美智子
出産の峠を越えて娘より母となりゆく嫁いとほしき　中村　紫乃
山深き湖水に映る灯籠の明りはぼんやり今宵を限り　楮佐古きよ
オニユリも蛍袋も茅の中頭を垂れて吾を迎へり　森本　幸美
炎天下重機のうなりと蝉の声拡張工事に涼風ほしや　五百蔵利美
六十年積み重ね来し花作り病の前に為す術もなし　都築　忠義
米作の赤字補ふと生ひしむる秋菜みづみづし陽の神あそぶ　大岸由起子
リウキウも茗荷の寿司にも人は老い今年の祭りに一つ灯の消ゆ　岡村　敏子
寝転べば稜線見ゆる里の家山のかなたにあこがれのあり　山﨑　貴子
戻らぬと言葉残して友は発つ施設へ移る秋立つ朝に　岡田美代子
山を越え谷も渡りて終日を惜しむ事無く今我等あり　岡本　初美
年毎に遅れてゆきぬ農作業友の助けで収穫始む　小松　敏子
虫の鳴く庭に立ち見る今日の月シリア難民ニュースの後を　坂上のぶ子
早米は色良く実り刈られおり機械の音の心良くひびく　鍵山　春子
義理の姪より毎年届く銘菓あり嬉しく頂く敬老の日を　山本登美子
ふり返る七十年の歳月よ父を奪いしおろかな戦　公文　千恵
七十年過ぎたる人生実らんと戦後の日々に思いをはせり　谷内　務
欲ばりを言うのは止そう青空も花も小鳥もいっぱいだもの　吉本　悦子
明日の朝獲れるオクラに茄子トマト見定めをする夕せまるなか　松中　賀代
ダウン症の書家翔子さん筆運ぶその迫力に拍手喝采　門田　明子
国道を渡りきれずに轢かれしや狸か猫か小さき骸　古川　安子
重たさを感じて手に持つ広辞苑文明の利器で無用となるや　大石　綏子
なつかしきゴンドラの歌学びたりリズムの変化に時代を思ふ　小松　禮子
病みてこそ判るは人の温かさ風のそよぎもわれに優しき　林田　幸子
幾年を共に過せし我が愛車手離し難く想ひあぐぬる　武内　弘子
こんなにも安保法案反対の群衆が居る議事堂の前　竹村　咲子
抜けるやうな青空といふはこれなるか布団干す手を止めて見上ぐる　公文　正子
息苦しく後れる吾を坂に立ち待ちくれる夫ありてこの今　小松もとみ
違和感はまだある体整体の一息つきてプラザのコーヒー　伊藤　清子
彼のひともかの人もゆき昼ふけの木々の翳りのいち面の射干　佐竹　玲子
帰りたる隣の幼の声のしてほのぼの吾ら夕餉とるなり　都築　初代
我が乳を飲ます如くに抱っこしてミルク飲ませぬ預りし子等に　古谷　由美
カラーの花咲く池の辺に黒き蛇今日も居たりと花呉れし人　佐々木真里
楠の木はライト照らされ蒼の濃し父の祈願の神母ノ木神社　宮地　亀好
刻々と時は過ぎゆくもどかしさ物事すすまず老を自覚す　野島　富石
養蚕に一代をかけし父母よ絹物広げかの時代を想ふ　岩井　純子
父は前母は後ろをふり返り長い年月二人三脚　中村　荷香
美しき偉容を誇る姫路城まこと白鷺天に描きて　野村　典子
落人の平家の人の支へしかしゃくなげ誇る祈念のみ寺　町　耿子
ろうそくを一気に吹きて誕生日まだまだ元気と励まし受ける　明石　敬恵
愛鳥のセキセイインコ土佐弁を真似してしゃべるおもしろいやつ　吉川　恵
愛猫も人間ならば傘寿過ぎ寄り添う二人は七十路ひたすら　刈谷美代子
何気ない言葉が自然と紡がれる日々の出来事心の綾も　秋　星
広報につね親しみし人の歌このごろ見えず秋深みゆく　岡崎　桜雲

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月１日までに、ご応募ください。

【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係

〒782－8501（住所記載不要）　FAX 53－5958

第10回 香美市 市民大学

８月30日から９月19日にかけて、第１０回香美市市民大学が開催され、延べ738人の方が来場しました。

書家

金澤 泰子・翔子さん

8/30

ダウン症の娘と共に生きて

第１講座は『ダウン症の娘と共に生きて』と題し、書家の金澤泰子さん・翔子さんの講演が行われました。母・泰子さんは、娘・翔子さんのエピソードや子育ての苦労について話され、「闇の中にこそ光はある」との言葉が印象的でした。翔子さんは迫力満点の書の実演を行い、さらにはマイケル・ジャクソンのダンスも披露するなど、本当に楽しい講演となりました。

ＮＰＯ法人
森は海の恋人　副理事長

畠山　信さん

9/6

海と共に生きる

～震災復興と森は海の恋人～

第２講座は『ＮＰＯ法人森は海の恋人』副理事長の畠山信さんの講演が行われました。東日本大震災のとき、畠山さんは船を守るために沖合へ出たものの、大波を受けて船は大破し、泳いで島にたどり着いたそうです。震災当時の状況がスクリーンに次々と映し出され、本当に悲惨なものでした。「人とのつながりが命を救う」というお話が深く心に残りました。

ＮＨＫ相撲解説者

舞の海 秀平さん

9/12

決してあきらめない

第３講座は、ＮＨＫ相撲解説者・舞の海秀平さんの講演が行われました。「テレビでは本音を言わず、差し障りのないことを言わないと仕事がなくなる」など、テレビの裏話をユーモアたっぷりに話されました。また、相撲界に入るには身長が足りなかったが、決して諦めず、頭頂部にシリコンまで入れて目的を達成したというお話に、いつしか引き込まれるように聞き入っていました。

健康アーティスト

己抄呼さん

9/19

己抄呼の笑う体操

第４講座は、健康アーティスト・己抄呼さんによる『笑う体操』の講演が行われました。背骨のひずみを直す体操や腰痛を直す体操、猫背を直す体操など、実生活に役立ついろいろな体操を、実技を交えながら教えていただきました。己抄呼さんが参加者の体操のまねをし、それを見て会場全体が爆笑に包まれるなど、笑いの絶えない９０分間となりました。元気をもらえる講演で、今年度の市民大学を笑いで締めくくることができました。